

## 分類名[果樹]

# 4 ウメ新品種「八郎」の品種特性

### 園芸試験場

#### 1) 取り上げた理由

本県のウメは県下一円で栽培されており、平成7年のウメの栽培面積は627haで、果樹栽培面積の25%を占めている。近年の健康ブームによる消費量の増加もあり、ウメ栽培熱が改めて見直されている。

品種構成は、「白加賀」が主体で約50%を占めているが、この「白加賀」の授粉樹として利用でき、自家結実性に優れ果実品質も良好である「ウメ筑波2号」を有望品種として検討を続けてきたが、平成9年8月に「八郎（旧うめ農林2号）」として品種登録された。従来、優れた中梅品種の少なかった東北地方で、梅干し加工用の品種として栽培性が良く県内でも充分栽培可能なので、参考資料とする。

#### 2) 参考資料

##### (1) 来歴

昭和49年に農林水産省果樹試験場において「地蔵梅」の自然交雑実生を採取し、昭和51年に果樹試験場千代田圃場にて選抜を行った。その後昭和58年から系統適応性検定試験に供試され、平成9年8月「うめ農林2号」として登録・公表され、「八郎」と命名された。

##### (2) 樹体生育の特徴

樹勢はやや強く、樹姿はやや開張する。短果枝及び花芽の着生は多く、自家結実性が優れ、生理落果は少なく収量は安定して高い。開花日、収穫期ともに「白加賀」とほぼ同時期である。黒星病の発生が中程度見られる。

##### (3) 果実の特徴

果実の大きさは10～20g、平均15g程度のやや小さめの中梅である。果形は短楕円形で果皮の着色は少なく、ヤニ果の発生は少ない。核の大きさは中位であるが、果肉が柔らかく、品質の優れた梅干し製品が得られる。

#### 3) 対象地域

県下一円

#### 4) 特に留意すべき事項

(1) 自家結実性が優れ、生理落果も少ないので、着果過多による果実の小粒化や樹勢低下を招かないように注意する。

(2) 果実の揃いがやや悪い傾向があり、また梅干し加工した際に果実によって若干しわが寄るものがでる。

#### 5) 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 研究機関及び担当部科名 園芸試験場 栽培部 果樹科

(2) 研究課題名及び研究期間 果樹の優良品種の選定と栽培法の確立 平成3～10年

主要果樹の新品種、国内育成系統の地方適応性 昭和62～平成7年

(3) 参考データ

表-1 「八郎」の生育概要及び果実重(昭和62～平成9年)

年次	展葉期	開花			収穫 始め	1果重 (g)
		始め	満開	終り		
昭和62年		3.30	4.1	4.16	7.13	17.8
63	4.18	3.29	4.10	4.18	7.18	12.4
平成元年	4.5	3.16	4.2	4.9	6.29	8.6
2	4.10	3.20	4.1	4.7	7.9	13.9
3	4.21	3.22	4.2	4.15	7.11	15.9
4	4.10	3.20	4.1	4.11	7.10	13.7
5	4.19	3.17	4.1	4.18	7.10	13.0
6	4.17	3.30	4.10	4.17	7.11	14.4
7	4.19	3.31	4.10	4.19	7.12	14.7
8	4.26	4.7	4.19	4.25	7.24	16.6
9	4.19	3.17	3.31	4.9	7.9	15.1
平均	4.16	3.25	4.5	4.15	7.11	14.2

注) 植栽年次 昭和59年に穂品種を接ぎ木し、直ちに定植

表-2 「白加賀」の生育概要及び果実重(昭和62～平成9年)

年次	展葉期	開花			収穫 始め	1果重 (g)
		始め	満開	終り		
昭和62年		3.30	4.7	4.17	7.13	20.5
63	4.20	3.24	4.12	4.19	7.18	18.1
平成元年	4.13	3.14	4.2	4.11	7.5	11.9
2	4.11	3.18	4.2	4.9	7.9	23.3
3	4.23	3.15	4.3	4.15	7.11	18.1
4	4.24	3.13	4.1	4.11	7.10	20.3
5	4.25	3.12	4.2	4.20	7.10	20.7
6	4.19	3.28	4.9	4.16	7.11	20.0
7	4.24	4.5	4.10	4.21	7.12	21.6
8	4.26	4.7	4.19	4.29	7.24	28.7
9	4.20	3.10	3.31	4.10	7.9	23.8
平均	4.21	3.22	4.6	4.16	7.12	20.6

注) 植栽年次 昭和59年に穂品種を接ぎ木し、直ちに定植

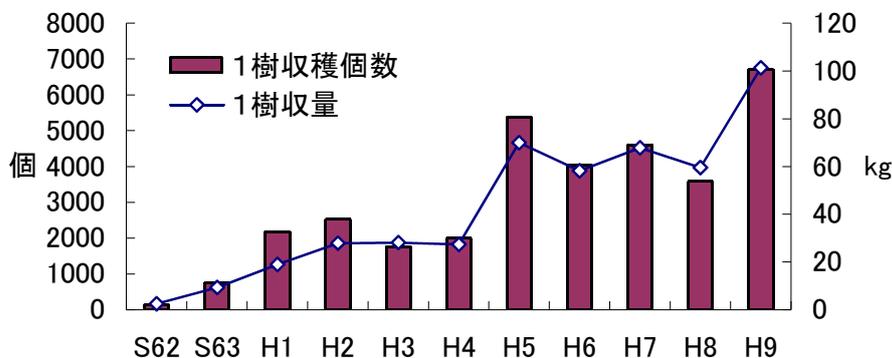


図-1 「八郎」の収穫量の推移

注) 植栽年次 昭和59年に穂品種を接ぎ木し、直ちに定植

(4) 発表論文等

なし。